

研究構想シート	学校名	大田市立五十猛小学校
	氏名	渡辺 晋平
A 研究主題 自分の考えをもち、課題解決に向かう子どもの育成 ～算数科の授業を通して～		
B 研究の目的 令和5年度の学力調査（全国学力調査、島根県学力調査など）の結果を踏まえ、本校の弱みだと思われる力（文章を正確に読み取る力・相手にわかりやすく説明する力）を育成する。また、全校で共通の問題意識をもって基礎学力の向上を図る。		
<p>C 子どもの実態</p> <p>本校の学校教育目標は「たくましく生きる子どもの育成」である。目指す児童像としては、進んで学ぶ子ども、元気な子ども、やさしい子どもとしている。実態としては、外遊びや体を動かすことが好きで、活発な児童が多い。また、「地域の方に対して、元気なあいさつができる」という学校評価の結果がある。</p> <p>学習に関して、課題に思われる点を3点に絞って研究を進めていく。</p> <p>①文章を正確に読み解く力</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題(課題)の把握に時間を要する。文章題で問われていることが理解できていない。必要な情報を取り出せない。 <p>②自分の考えを表現したり、説明したりする力</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に自分の意見を伝えるための表現の仕方(言葉、絵、図などを使って)が身につけていない。 正解にこだわり、思考過程や考えの根拠に関心をもつことが少ない。 <p>③見通しをもって主体的に課題解決に向かう力</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く課題に取り組みにくい。 新しい知識、他の人の考え方を取り入れてこれまでの自分とはちがう考え方をしてみようとするのが少ない。 	<p>E 手立て・内容(研究仮説)</p> <p>「①文章を正確に読み解く力」を身につけるために、</p> <p>I, 文章を正しく読み取る場面をつくれば、自分の考えをもち、課題に取り組むだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数の文章題において、板書の視覚的な工夫(色チョーク、下線、囲むなど) <p>「②自分の考えを表現したり、説明したりする力」を身につけるために、</p> <p>II, 自分の考えを説明する場面をつくれば、自分の考えを明確にしたり、友達の意見から自分の考えを比べたりできるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートの工夫 ICTを活用して、自分の考えを説明する場を設ける。 <p>「③見通しをもって主体的に課題解決に向かう力」を身につけるために、</p> <p>III, 目的意識をもった数学的活動を取り入れれば、見通しをもって主体的に課題解決に向かうようになるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 能力ベースの単元計画を実施し、数学的活動の工夫をする。 既習事項を活用して課題に取り組む場を設ける。 	<p>D めざす子どもの姿</p> <p>【自分の考えをもち、課題に取り組む子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問われていることを正しく捉えている。 個人思考の時間に、粘り強く考えている。 自分の考えを、図や絵、言葉などで表現をしている。 既習事項を活用して課題に取り組んでいる。 具体的な操作を行いながら、課題に取り組んでいる。 <p>【課題解決に向かう子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを、図や絵、言葉を使って、聞き手を意識して伝えている。 友だちの考えを受け止め、自分の考えの同じところ、違うところを比べながら考えている。 よりよい方法や考え方を探し出そうとしている。
F 検証方法		
<p>I, 島根県学力調査の文章題の正答率</p> <p>II, 島根県学力調査の記述問題の正答率</p> <p>III, 授業中の子どもの変容、アンケート</p>		
G 研究計画		
<p>1学期：校内研究授業に向けての計画(希望時期、単元名)</p> <p>R6校内研究授業希望調査を行い、研究授業のスケジュールを立てる。</p> <p>6年目研の校内研究授業①に向けて、1カ月前から指導案審議を行う。</p> <p>7月上旬 6年目研校内研究授業① (2学級)</p> <p>2学期：6年目研の校内研究授業②、またはそれぞれが行う校内研究授業に向けて、1カ月前から指導案審議を行う。</p> <p>11月27日(水)6年目研校内研究授業②(大田市通覧指導)(2学級)</p> <p>3学期：来年度に向けての振り返り、実践まとめ</p> <p>来年度に向けての研究仮説、めざす子どもたちの姿についての検討</p>		